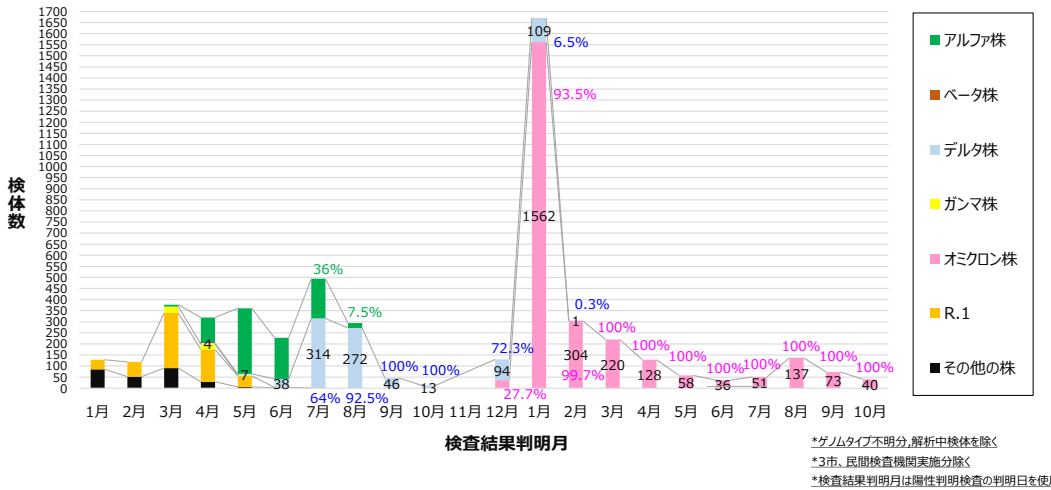


千葉県衛生研究所で実施したゲノム解析による新型コロナウイルス変異状況について

2022年11月7日

新型コロナウイルスの県衛生研究所把握分の検体（県衛生研究所で保健所等から収集した検体）において、2022年9月に検査陽性が判明した検体はすべて（73検体/73検体, 100%）オミクロン株でした。また2022年10月に検査陽性が判明した検体についてもこれまで（2022年10月19日まで）のところ、すべて（40検体/40検体, 100%）がオミクロン株となっています。本年3月以降 COVID-19 陽性検体はすべてオミクロン株となっており、デルタ株や N501Y 変異陽性（アルファ株、ベータ株、ガンマ株）、E484K 単独変異株（R.1 等）、その他の株の検体は確認されていません。

【月別】2021年1月～2022年10月19日までのCOVID-19陽性検体の変異状況の推移(N=5228)



*ゲノムタイプ不明分、解析中検体を除く
 *3市、民間検査機関実施分除く
 *検査結果判明月は陽性判明検査の判明日を使用

【月別】2021年1月～2022年10月19日までに結果が判明したCOVID-19陽性検体の変異状況と割合

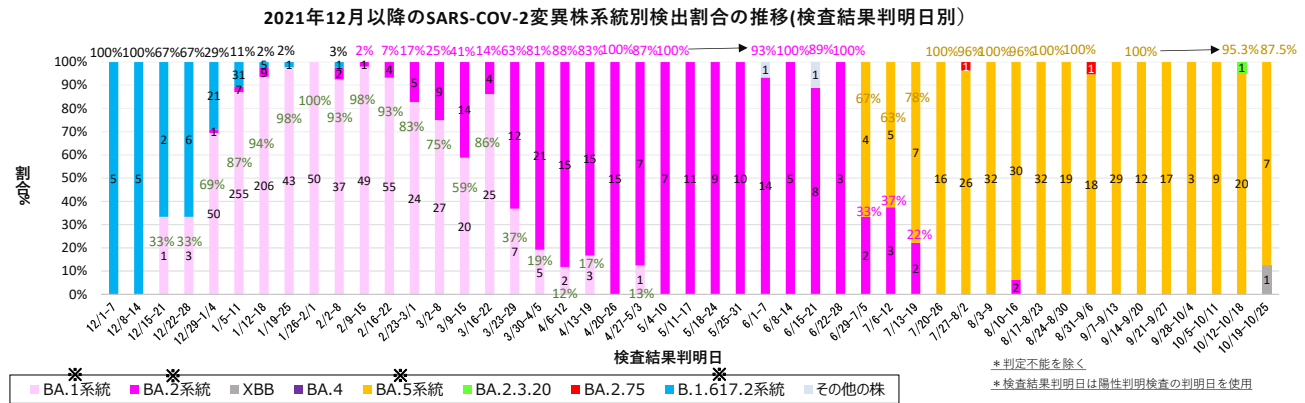
検査結果判明月	アルファ株 (B.1.1.7系統)		ベータ株 (B.1.351系統)		ガンマ株 (P.1系統)		デルタ株(B.1.617.2, AY.xx 等)※疑い含む		オミクロン株(BA.X, BE, BF, XBB 系統)※疑い含む		R.1		その他の株(従来株等)		合計
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
2021年1月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	43	34%	85	66%	128
2月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	67	56%	52	44%	119
3月	8	2.1%	0	0.0%	29	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	249	66%	91	24%	377
4月	113	35.4%	3	0.9%	25	7.8%	4	1.3%	0	0.0%	145	45%	29	9%	319
5月	296	82.0%	0	0.0%	3	0.8%	7	1.9%	0	0.0%	49	14%	6	2%	361
6月	186	81.6%	0	0.0%	0	0.0%	38	16.7%	0	0.0%	2	1%	2	1%	228
7月	179	36.2%	0	0.0%	0	0.0%	314	63.6%	0	0.0%	1	0%	0	0%	494
8月	22	7.5%	0	0.0%	0	0.0%	272	92.5%	0	0.0%	0	0%	0	0%	294
9月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	46	100.0%	0	0.0%	0	0%	0	0%	46
10月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	13	100.0%	0	0.0%	0	0%	0	0%	13
11月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0%	0	0%	0
12月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	94	72.3%	36	27.7%	0	0%	0	0%	130
2022年1月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	109	6.5%	1562	93.5%	0	0%	0	0%	1671
2月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	304	99.7%	0	0%	0	0%	305
3月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	220	100.0%	0	0%	0	0%	220
4月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	128	100.0%	0	0%	0	0%	128
5月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	58	100.0%	0	0%	0	0%	58
6月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	36	100.0%	0	0%	0	0%	36
7月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	51	100.0%	0	0%	0	0%	51
8月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	137	100.0%	0	0%	0	0%	137
9月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	73	100.0%	0	0%	0	0%	73
10月	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	40	100.0%	0	0%	0	0%	40
合計	804	15.4%	3	0.1%	57	1.1%	898	17.2%	2645	50.6%	556	10.6%	265	5.1%	5228

■2021年12月以降のSARS-CoV-2ゲノムタイプ別検出割合の推移（検査結果判明週ごと）

AY.29等のデルタ株の系統は2021年12月中旬以降に検査陽性が判明した検体中において検出割合が減少し、2022年2月2日-8日の週を最後に確認されていません。現在、県内陽性検体の全てを占めるオミクロン株の系統別ではBA.1系統（※以下注）が2021年12月中旬以降増加し、2022年2月中旬～下旬まで主流の系統でしたが、その後BA.2系統（※以下注）の検出割合が増加し始め、2022年3月末～4月頃には全体

の8割以上を占めるようになり、2022年6月末までほぼ全てをBA.2系統が占めていました。2022年7月上旬からBA.5系統（※以下注）の検出割合が急激に増加し、7月20日-26日の週以降、全体の96%~100%を占め、ほぼ全ての陽性検体がBA.5系統に置き換わっている状況です。

なおBA.5系統よりも感染力が強い可能性があると考えられるSARS-CoV-2の変異株BA.2.75系統は2022年7月27日-8月2日の週に1検体、8月31日-9月6日の週に1検体確認され、BA.2.3.20系統は10月12日-18日の週に1検体、XBB系統は10月19日-25日の週に1検体それぞれ確認されています。



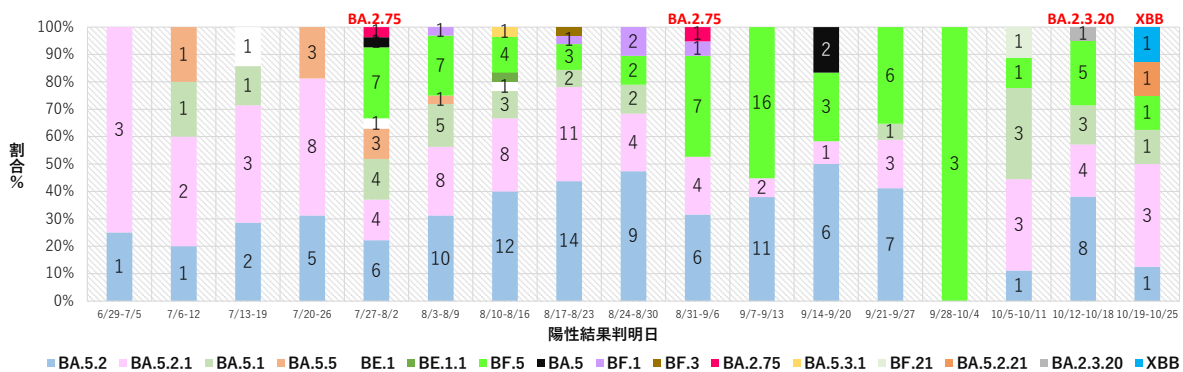
※BA.1系統：BA.1, BA.1.1, BA.1.1.2, BA.1.15等

※BA.2系統：BA.2, BA.2.10, BA.2.10.2, BA.2.24, BA.2.29, BA.2.3, BA.2.3.1等 BA.2.3.20, BA.2.75を除く

※B.1.617.2系統：B.1.617.2, AY.122.1, AY.29, AY.29.1等

※BA.5系統：BA.5, BA.5.1, BA.5.2, BA.5.2.1, BA.5.2.21, BA.5.3.1, BA.5.5, BE.1, BE.1.1, BF.1, BF.3, BF.5, BF.21等

★参考：BA.5等の系統別検出状況（陽性結果判明週別）



・2022年6月29日~10月19日までの各BA.5系統別の検出割合

